

山大医学部 病院だより

| 看護職員へお花のプレゼント |



令和3年2月8日(月)、本院の看護職員に838本のスイートピーの花束が届きました。

これは、2月14日の「フラワーバレンタイン」関連行事として、新型コロナウイルス感染症に対応している県内医療機関へ感謝の思いを伝えようと、山口県内の花き産業関係者で構成される「山口県花卉園芸推進協議会」から贈られたものです。心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

退任のご挨拶



山口大学大学院医学系研究科

医学専攻

消化器内科学講座

教授 坂井田 功

このたび、令和3年3月末日をもって定年退職いたします。山口大学医学部・附属病院の関係者の皆様には、長年にわたり大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

私は、昭和59年3月に山口大学医学部を卒業後、第一内科に入局し、大学院生・研修医として医師の道を歩み始めました。昭和62年のアメリカ合衆国トーマスジェファソン医科大学への留学を経て、平成17年から消化器内科学講座(第一内科)教授として勤務させていただきました。この間、山口大学大学院医学系研究科長・医学部長、山口大学難治性疾患トランスレーショナル研究拠点長など貴重な経験をさせていただきました。また、附属病院では、第一内科

科長や光学医療診療部部長、漢方診療部部長、肝疾患センター長を務めさせていただきました。3年余りのアメリカ留学と短期間の関連病院勤務を除けば、大半を大学で過ごしたことになります。

卒後の昼間は研修医で夜は大学院生(研究)という生活は、大変ではありましたが、実に充実した時間でもありました。何事も今より「ゆつたりと余裕のある時代」であったような気がします。単に若くてキャパシティが広かっただけかもしれません。独身で過ごしたアメリカ社会との出会いは、刺激的で創造性のあるものでした。若い人には落ち着いた時期に機会があれば是非とも海外にチャレンジしてもらいたいと思います。

大学では、臨床だけでなく教育や研究も実施しなければならず非効率のだとも言われます。しかし、教育・研究・臨床を三位一体としてうまく回転させることで、伝統と革新を融和させて実現できる人材育成ができるものと信じています。ここまで来られたのも多くの方に助けていただいたお陰と感謝しております。

最後になりましたが、山口大学医学部・附属病院のご発展と職員の皆様への益々のご健勝を祈念しております。

退任のご挨拶



山口大学大学院医学系研究科

保健学専攻

地域・老年看護学講座

教授 守田 孝恵

この度、令和3年3月末日をもちまして山口大学を定年退職することになりました。私は福岡市、東京都、国立公衆衛生院の実務経験を経て、平成15年4月より今日まで、約18年間山口大学に在籍したことになりました。在籍期間中に最も印象に残っていることを記したいと思います。

2019年1月に第7回日本公衆衛生看護学会学術集会を宇部市で開催しました。ウインスローは「公衆衛生は：サイエンスでありアートである」と定義していますので、学会のテーマは「健康のアートとサイエンスで日々を織りなす公衆衛生看護」としました。オープニングはショパンの華麗なる大円舞曲をピアノ連弾で演奏し、渡邊翁記念館のホールの緞帳を開けました。

メインシンポジウムでは「産・官・学・民」のパートナーシップを核とした宇部方式によるまちづくりをテーマとし、山口大学学長や宇部市長の登壇で、サイエンスに基づく宇部市の公衆衛生の展開を辿りました。また、宇部市民大学のOBの研究発表やピアノスト仲道郁代氏の講演と演奏など、一流のアートとサイエンスをちりばめたプログラムを構築し、地域に開かれた学会として好評を得ました。

宇部市の華道家による生け花は会場にアートの華やぎを添えるものとなりました。宇部新川駅長さんのご配慮で、懇親会後の時間帯には、通常1両編成のところを2両編成車両で、新山口駅行き列車が運行されました。市営バスやタクシー協会にも精一杯の応援をいただきました。地元の皆様を支えられた学会開催によって、日本の公衆衛生看護の歴史に足跡を残すことができました。山口大学が地元地域と共に歩み紡いできた長い歴史の賜物だと思えます。

近年 STEAM 教育が注目されています。STEMに「A」のアートが加えられた意味を、公衆衛生と音楽の両者のアートから考え続けたいと思います。最後に、在職中に多くの皆様から賜りましたご厚情とご支援に心より御礼申し上げます。山口大学の益々のご発展を祈念いたします。

令和2年度

定年退職者の皆さま

長きにわたりご活躍され、この春に退職される先生方本当にありがとうございました。

| | | | |
|--------|-------|----------|------------|
| 医学系研究科 | 医学専攻 | 小林 誠 教授 | 分子細胞生理学講座 |
| | | 坂井田 功 教授 | 消化器内科学講座 |
| | 保健学専攻 | 守田 孝恵 教授 | 地域・老年看護学講座 |

経済学部の学生が起業したサラダ専門店より、 本院へサラダの無償提供がありました。

コロナ禍のなか診療にあたる医療従事者を応援したいと、山口大学経済学部4年生の村上光さんが起業したサラダ専門店「Mr.Gleen by cozy」より、サラダの無償提供がありました。

令和3年1月25日(月)、村上さんが本院を訪れ、先進救急医療センターの鶴田センター長と近沢師長にサラダ30食分を提供しました。



鶴田センター長は「若い学生さんのこのような気持ちが本当にうれしい。このことを励みに、サラダを食べてこれからも頑張っていきたい」と感謝の言葉を伝えました。



令和2年度医学教育等関係業務功労者表彰 伝達式を行いました。

令和3年1月19日(火)に「令和2年度医学教育等関係業務功労者表彰」伝達式を行いました。

この表彰は、医学・歯学に関する教育研究又は患者診療等に係る業務に関し、顕著な功労のあった方々を文部科学大臣が表彰するものです。

例年、文部科学省で表彰式を行っておりますが、今年度はコロナ禍ということもあり、本院での伝達式となりました。

杉野病院長から受賞者に表彰状が授与され、今後のさらなる活躍を期待する旨の祝辞がありました。谷澤栄養治療部長、原田看護部長、藤井副看護部長、川村事務部長も同席し、受賞を祝しました。

受賞者は次のとおりです。

受賞者

看護部 看護師 岡村 美穂
栄養治療部 調理師 重枝 一雄



寄附のお願い

山口大学医学部附属病院は、地域医療への貢献を目指し日々努力しております。
地域の皆様方により安全で最良の医療を提供するために、温かいご支援をお願い申し上げます。



ご寄附はこのように
使われています

最先端医療機器
の導入

患者(家族)の
満足度向上

医療プロフェッショナル
の育成

寄附の手続き

申込書に記入し、患者支援センター（外来診療棟1階）または経営企画課予算管理係（医学部本館1階）までお申し出ください。

申込書は患者支援センターおよび外来総合案内にあります。またホームページからもダウンロードできます。

申込書ダウンロード

<http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/about/donation.html>



寄附に関するお問い合わせ先

国立大学法人山口大学 医学部経営企画課予算管理係
TEL/0836-22-2023 E-Mail/me212@yamaguchi-u.ac.jp

働きながら キャリアアップ してみませんか？

大学卒業『学士（教養）』+『学士（看護学）』
の取得を目指して！



心理系の資格取得も！



看護
医療

看護師の特定行為研修科目の
うち共通科目（講義・演習）
を開講。

データサイエンス教育も！

資料のご請求や入学相談は下記電話番号へお問合せください。



放送大学山口学習センター
山口市吉田1677-1
(山口大学吉田キャンパス大学会館内)

TEL 083-928-2501 (月曜・祝日開所)
0120-864-600 (資料請求専用)



放送大学

YouTube 山口大学病院チャンネル配信中

最新治療や病院紹介など、
幅広く当院の情報を動画で配信しています。



診療紹介「知っちょる? 山大病院」



A棟紹介映像



YouTube「山口大学病院チャンネル」



公式Facebookページで
山大病院の情報を配信中!!



企画発行

山口大学医学部広報委員会・山口大学医学部総務課総務係
〒755-8505 山口県宇部市南小串1丁目1番1号 TEL 0836-22-2007
医学部 <http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/>
附属病院 <http://www.hosp.yamaguchi-u.ac.jp/>